

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

国語 科目 文学国語

教科：国語

科目：文学国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：竹内）（2組：竹内）（3組：武田）（4組：武田）（5組：武田）（6組：竹内）（7組：竹内）（8組：武田）

使用教科書：（『文学国語』文国708 筑摩書房）

教科 0

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		話	書	読						
1 学 期	第1章 ことばから広がる世界 随想・評論（一） 【知識・技能】 「情報の彫刻」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 「バイリンガリズムの政治学」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考・判断・表現】 「情報の彫刻」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 「バイリンガリズムの政治学」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持つ。	・指導事項。 文章表現の特色と展開の仕方について理解する。 ・教材 「情報の彫刻」「バイリンガリズムの政治学」 ・一人1台端末の活用 等 関連知識を調べる。	○	○	○	○	○	○	○	10
	定期考査					○	○			1
	第2章 物語との出会い 小説（一） 【知識・技能】 「山月記」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考・判断・表現】 「山月記」を参考に、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にする。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持つ。	・指導事項。 文章表現の特色と展開の仕方について理解する。 ・教材 「山月記」 ・一人1台端末の活用 等 関連知識を調べる。	○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査					○	○			1
1 学 期	第3章 背後にあるメッセージ 随想・評論（二） 【知識・技能】 「実体の美と状況の美」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考・判断・表現】 「実体の美と状況の美」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持つ。	・指導事項。 文章表現の特色と展開の仕方について理解する。 ・教材 「実体の美と状況の美」 ・一人1台端末の活用 等 関連知識を調べる。	○	○	○	○	○	○	○	7
	定期考査					○	○			1
	第6章 過去の対話 随想・評論（四） 【知識及び技能】 「死者の声を運ぶ小舟」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「死者の声を運ぶ小舟」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心を持つ。	・指導事項。 文章表現の特色と展開の仕方について理解する。 ・教材 「死者の声を運ぶ小舟」 ・一人1台端末の活用 等 関連知識を調べる。	○	○	○	○	○	○	○	5
	定期考査					○	○			1

2 学 期	<p>第7章 世界観を築く 随想・評論 (五) 【知識及び技能】 「建築論ノート」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「建築論ノート」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心を持つ。</p>	<p>・指導事項 文章表現の特色と展開の仕方について理解する。 ・教材 「建築論ノート」 ・一人1台端末の活用 等 関連知識を調べる。</p>	○	○	<p>【知識・技能】 「建築論ノート」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「建築論ノート」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持っている。</p>	○	○	○	5
	定期考査					○	○		1
2 学 期	<p>第5章 自己と向き合う 小説 (二) 【知識及び技能】 「こころ」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「こころ」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心を持つ。</p>	<p>・指導事項 文章表現の特色と展開の仕方について理解する。 ・教材 「こころ」 ・一人1台端末の活用 等 関連知識を調べる。</p>	○	○	<p>【知識・技能】 「こころ」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「こころ」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持っている。</p>	○	○	○	14
	定期考査					○	○		1
3 学 期	<p>第2章 交差するドラマ 小説 (一) 【知識及び技能】 「舞姫」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「舞姫」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 教材の内容に関心を持つ。</p>	<p>・指導事項 文章表現の特色と展開の仕方について理解する。 ・教材 「舞姫」 ・一人1台端末の活用 等 関連知識を調べる。</p>	○	○	<p>【知識・技能】 「舞姫」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「舞姫」の文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 教材の内容に関心を持っている。</p>	○	○	○	18
	定期考査					○	○		1

<p>随筆(2)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物のものの見方、感じ方を読み味わおうとする意識を持つ。 	<p>・指導事項</p> <p>話の展開をとらえ、作者が話に込めた意図を読み取る。</p> <p>漢詩の形式や詩の表現の特徴を理解する。</p> <p>自然をうたった詩、友情をうたった詩、人生をうたった詩を、それぞれ読み味わい、表現の工夫をとらえる。</p> <p>・教材</p> <p>「宮に初めて参りたるころ」「源氏の五十余巻」</p> <p>「両頭蛇」「糟糠之妻」漢詩</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>メモを取る。</p> <p>自分の文章を校正し、発表する。</p>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。 ・唐詩に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。 	○	○	○	22
定期考査				○	○		1

	<p>随筆(1)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりする。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動をする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文の随筆と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとする意識を持つ。 	<p>・指導事項</p> <p>登場人物の人物像をとらえる。表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫する。</p> <p>・教材</p> <p>「家居のつきづきしく」「をばすて」「忠度都落ち」</p> <p>「鴻門の会」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>当時の文化を調べる。</p>				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり評論したりする活動をしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文の随筆と現代のさまざまな文化との繋がりを理解しようとしている。 	○	○	○	23
定期考査							○	○		1
2 学 期	<p>物語(3)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章に表れている言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解する。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 ・同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表したりする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いをとらえる。 	<p>・指導事項</p> <p>登場人物の人物像をとらえる。文章表現の特色と物語の展開の仕方について理解する。</p> <p>・教材</p> <p>「花山院の出家」「項王の最期」「定伯売鬼」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>当時の文化を調べる。</p>				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章に表れている言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・同じ題材を取り上げた複数の古典の作品や文章を読み比べ、思想や感情などの共通点や相違点について論述したり発表したりしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に興味をもち、物語の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の思いをとらえようとしている。 	○	○	○	22
定期考査							○	○		1

<p>3 学 期</p>	<p>物語 (2)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえる。 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとする意識を持つ。 	<p>・指導事項</p> <p>物語の表現の特徴をとらえる。物語の展開を整理し、登場人物の心情を理解する。</p> <p>思想について書かれた文章を読み、現代に生きている言葉や考え方について理解を深める。</p> <p>・教材</p> <p>「光源氏の誕生」「若紫との出会い」「何日利」「侵官之害」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>目的や意図に応じて図表を読む。</p> <p>情報の妥当性について検討する。</p>	○					○ ○ ○	18
定期考査								○ ○	1

高等学校 令和6年度 第2学年 地理歴史科 世界史探究

教科:地理歴史科 科目:世界史探究 単位数:2単位

対象学年組:2年1組~8組

教科担当者:金山裕紀

使用教科書:『詳説世界史』(山川出版社)

教科 地理歴史科 目標:社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 目標:社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の目標	指導項目・内容	単元の評価規準	知	思	態	配当時間
1 学期	世界史へのまなざし 【知識及び技能】 人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現する。 諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界史へのまなざしについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	世界史へのまなざし① 世界史へのまなざし②	【知識・技能】 人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解している。 衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現している。 諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界史へのまなざしについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	4
	諸地域の歴史的特質への問い 【知識及び技能】 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	第1部を学ぶ前に	【知識・技能】 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	1
	古代文明の歴史的特質 【知識及び技能】 オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	第1章 文明の成立と古代文明の特質 ・文明の誕生 ・古代オリエント文明とその周辺	【知識・技能】 オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	中間考查	筆記テスト		○	○	○	1
	古代文明の歴史的特質 【知識及び技能】 オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較し	第1章 文明の成立と古代文明の特質 ・南アジアの古代文明 ・中国の古代文明	【知識・技能】 オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較し	○	○	○	6

	<p>たり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>・南北アメリカ文明</p>	<p>たり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>				
	<p>諸地域の歴史的特質</p> <p>【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成</p> <p>・西アジアの諸国家 ・地中海周辺の諸国家</p>	<p>【知識・技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>期末考查</p>	<p>筆記テスト</p>		○	○	○	1
	<p>諸地域の歴史的特質</p> <p>【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成</p> <p>・地中海周辺の諸国家 ・キリスト教の成立</p>	<p>【知識・技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
2 学期	<p>諸地域の歴史的特質</p> <p>【知識及び技能】 仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開</p>	<p>【知識・技能】 仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>中間考查</p>	<p>筆記テスト</p>		○	○	○	1
	<p>諸地域の歴史的特質</p> <p>【知識及び技能】 秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、唐の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>第2章 中央ユーラシアと東アジア世界</p>	<p>【知識・技能】 秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、唐の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	11
	<p>期末考查</p>	<p>筆記テスト</p>		○	○	○	1
3 学期	<p>諸地域の歴史的特質</p> <p>【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会</p>	<p>第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</p>	<p>【知識・技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会</p>	○	○	○	8

<p>や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>		<p>や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>				
<p>諸地域の歴史的特質への問い</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>諸地域の交流・再編について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>第II部を学ぶ前に</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>諸地域の交流・再編について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	1
<p>結び付くユーラシアと諸地域</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>西アジア社会の動向とイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開、宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、中国社会の特徴、諸地域へのイスラームの拡大の要因、ヨーロッパの社会の特色などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>諸地域の交流・再編について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向</p> <p>第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>・西ヨーロッパの封建社会とその展開</p> <p>第8章 東アジア世界の展開</p> <p>・アジア諸地域の自立化と宋</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>西アジア社会の動向とイスラームの伝播、ヨーロッパ封建社会とその展開、宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、中国社会の特徴、諸地域へのイスラームの拡大の要因、ヨーロッパの社会の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>諸地域の交流・再編について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>学年末考査</p>	<p>筆記テスト</p>		○	○	○	1
						<p>合計 70</p>

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科： 地理歴史 科目： 日本史探究

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： (1, 2, 4, 5, 6組：谷本 3, 7, 8組：柴田)

使用教科書： (詳説日本史 (山川出版社))

教科 0 の目標： 社会的な見方・考え方を簡せ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して面かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 0 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるように	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在のつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	第1章 日本文化のあけぼの 【知識及び技能】 日本列島における旧石器文化・縄文文化・弥生の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について、小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化・弥生文化の特色を明らかにす 定期考査	1 日本文化の始まり 2 農耕社会の成立	【知識及び技能】 日本列島における旧石器文化・縄文文化・弥生の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について、小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化・弥生文化の特色を明らかにしている。	○	○	○	10
	第2章 古墳とヤマト政権 【知識及び技能】 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出して	1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	【知識及び技能】 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出して	○	○	○	6
	第3章 律令国家の形成 【知識及び技能】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程と変容などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジア世界の動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程と変容のつながりを明らかにしようとする。	1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容	【知識及び技能】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程と変容などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジア世界の動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程と変容のつながりを明らかにしようとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○	○	1	

2 学 期	<p>第4章 貴族政治の展開</p> <p>【知識・技能】 藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとする。</p>	<p>1 摂関政治</p> <p>2 国風文化</p> <p>3 地方政治の展開と武士</p>	<p>【知識・技能】 藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
	<p>第5章 院政と武士の躍進</p> <p>【知識及び技能】 貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。</p>	<p>1 院政の始まり</p> <p>2 院政と平氏政権</p>	<p>【知識及び技能】 貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>第6章 武家政権の成立</p> <p>【知識及び技能】 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 鎌倉幕府の成立過程や封建制度の</p>	<p>1 鎌倉幕府の成立</p> <p>2 武士の社会</p> <p>3 モンゴル襲来と幕府の衰退</p> <p>4 鎌倉文化</p>	<p>【知識及び技能】 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	7	
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	<p>第7章 武家社会の成長</p> <p>【知識・技能】 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとする。</p>	<p>1 室町幕府の成立</p> <p>2 幕府の衰退と庶民の台頭</p> <p>3 室町文化</p> <p>4 戦国大名の登場</p>	<p>【知識・技能】 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	18
	定期考査			○	○	○	1

高等学校 令和6年度 第2学年 公民科 公共

教科：公民科 科目：公共 単位数：2単位

対象学年組：2年1組～8組

教科担当者：(鯉淵)(末吉)

使用教科書：『高等学校 公共』(教育図書)

教科 公民科 目標：社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論」について理解し、「諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能」の習得	「事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力」や「合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力」を育成する	「よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度」を養うとともに、「多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方」「公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ること」「各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うこと」の大切さについての自覚を深める

科目 公共 目標：社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
"・自分自身が公共的空間の主体となり、自分のキャリア形成とともによりよい社会の形成に結びつくことについて理解する。 ・選択・判断の手がかりとして功利主義、義務論などの考え方について理解する。 ・個人の尊重、民主主義、法の支配、自由と責任など公共的空間における基本原理について理解する。	地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現すること。	よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。

	単元の目標	指導項目・内容	単元の評価規準	知	思	態	配当時間
1 学 期	公共の扉 公共と人 【知識及び技能】 先哲の思想の特徴を理解している。日本の公共的あり方の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 意見の異なる相手との対話ができる。 相手の意見を受けて自分の考えを述べることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な人間と協働する公共的空間の担い手としての自覚を深めている。	公共の扉 公共と人	公共の扉 公共と人 【知識及び技能】 先哲の思想の特徴を理解している。日本の公共的あり方の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 意見の異なる相手との対話ができる。 相手の意見を受けて自分の考えを述べることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な人間と協働する公共的空間の担い手としての自覚を深めている。	○	○	○	5
	公共の扉 公共と倫理 【知識及び技能】 功利主義、義務論、環境倫理について理解している。Sy会問題(環境問題、医療費問題など)について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 社会問題について功利主義と義務論の考え方をを用いて表現している。社会現象や政策判断を、功利主義、義務論の考え方にに基づき表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 当事者として社会問題を思考し、どうすべきかを思考している。	公共の扉 公共と倫理	公共の扉 公共と倫理 【知識及び技能】 功利主義、義務論、環境倫理について理解している。Sy会問題(環境問題、医療費問題など)について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 社会問題について功利主義と義務論の考え方をを用いて表現している。社会現象や政策判断を、功利主義、義務論の考え方にに基づき表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 当事者として社会問題を思考し、どうすべきかを思考している。	○	○	○	4
	中間考査	筆記テスト		○	○	○	1
	公共の基本原 理 法 【知識及び技能】 社会契約説、自然権、三権分立など民主政治の重要概念を理解している。憲法の3つの原理について理解している。形式的平等、実質的平等、法の下での平等、社会に与える影響など多角的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 憲法改正の是非について自ら思考している。 多数決の弊害(少数派の抑圧)をどのように回避できるか思考している。 【学びに向かう力、人間性等】 公正・平等とは何か、当事者として思考しようとしている。	公共の基本原 理 法	公共の基本原 理 法 【知識及び技能】 社会契約説、自然権、三権分立など民主政治の重要概念を理解している。憲法の3つの原理について理解している。形式的平等、実質的平等、法の下での平等、社会に与える影響など多角的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 憲法改正の是非について自ら思考している。 多数決の弊害(少数派の抑圧)をどのように回避できるか思考している。 【学びに向かう力、人間性等】 公正・平等とは何か、当事者として思考しようとしている。	○	○	○	6
	公共の扉 現代社会の諸課題 法 【知識及び技能】 日本の法体系、法の分類、法の対象について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 権利の衝突に際し「公共の福祉」の概念が、どのような		【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5

	<p>役割を果たすか思考している。 犯罪の軽重や性質、当事者の社会的立場などを勘案して、「忘れられる権利」について判断している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 法について関心を持ち、巻末の法文にあたろうとしている。自分の名前などをインターネットで検索し、好ましくない情報が表示された場合を想定し、この問題について主体的、具体的に考えようとしている。</p>						
	<p>期末考査</p>	<p>筆記テスト</p>		○	○	○	1
	<p>現代社会の諸課題 政治</p> <p>【知識及び技能】 政治などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識、技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 法、政治、経済を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。</p>	<p>現代社会の諸課題 政治</p> <p>【知識及び技能】 政治などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識、技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 法、政治、経済を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。</p>		○	○	○	6
	<p>中間考査</p>	<p>筆記テスト</p>		○	○	○	1
2 学 期	<p>現代社会の諸課題 政治</p> <p>【知識及び技能】 政治などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識、技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 法、政治、経済を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。</p>	<p>現代社会の諸課題 政治</p> <p>【知識及び技能】 政治などに関わるシステムの下で活動するために必要な知識、技能を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 法、政治、経済を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。</p>		○	○	○	10
	<p>現代社会の諸課題 経済</p> <p>【知識及び技能】 市場経済のメカニズム、各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解くことができている。財政の仕組み、金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 法、政治、経済を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。</p>	<p>現代社会の諸課題 経済</p> <p>【知識及び技能】 市場経済のメカニズム、各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解くことができている。財政の仕組み、金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 法、政治、経済を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。</p>		○	○	○	3
	<p>期末考査</p>	<p>筆記テスト</p>		○	○	○	1
3 学 期	<p>現代社会の諸課題 経済</p> <p>【知識及び技能】 市場経済のメカニズム、各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解くことができている。財政の仕組み、金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 法、政治、経済を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。</p>	<p>現代社会の諸課題 経済</p> <p>【知識及び技能】 市場経済のメカニズム、各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解くことができている。財政の仕組み、金融のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 法、政治、経済を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。</p>		○	○	○	8
	<p>現代社会の諸課題 情報</p> <p>【知識及び技能】 ハーバーマスの公共圏の思想を具体的なカフェと結びつけて理解している。情報格差について理解し、災害時に助け合うことの大切さを理解している。</p>	<p>現代社会の諸課題 情報</p> <p>【知識及び技能】 ハーバーマスの公共圏の思想を具体的なカフェと結びつけて理解している。情報格差について理解し、災害時に助け合うことの大切さを理解している。</p>		○	○	○	2

<p>【思考力、判断力、表現力等】 社会に生きる人間の多様性と、ネット空間の閉鎖性を理解し、ネットを公共的空間にするための方策について思考している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 マクルーハンなどのメディア論に関心を持ち、より深く学ぼうという意欲が見られる。フィルターバブルの外に出るための試みを実践しようとしている。</p>		<p>【思考力、判断力、表現力等】 社会に生きる人間の多様性と、ネット空間の閉鎖性を理解し、ネットを公共的空間にするための方策について思考している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 マクルーハンなどのメディア論に関心を持ち、より深く学ぼうという意欲が見られる。フィルターバブルの外に出るための試みを実践しようとしている。</p>				
<p>持続可能な社会へ</p> <p>【知識及び技能】 社会課題の調査、表現方法、課題解決に向けた協働の方法などについて学習している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 公共で学習した内容や課題をもとに見方・考え方はたらかせ、具体的な社会課題を見出し、これを適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他校の事例に刺激を受け、社会参画への意欲をまとはじめている。</p>	<p>持続可能な社会へ</p>	<p>持続可能な社会へ</p> <p>【知識及び技能】 社会課題の調査、表現方法、課題解決に向けた協働の方法などについて学習している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 公共で学習した内容や課題をもとに見方・考え方はたらかせ、具体的な社会課題を見出し、これを適切に表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他校の事例に刺激を受け、社会参画への意欲をまとはじめている。</p>	○	○	○	9
<p>学年末考査</p>	<p>筆記テスト</p>		○	○	○	1
						<p>合計 70</p>

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組：辻）（2組：辻）（3組：村松）（4組：村松）（5組：小林）（6組：小林）（7組：乾）（8組：乾）

使用教科書：（数研出版数学Ⅱ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】各単元の内容を理解し、事象を数学化し、表現、処理ができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】数学的な考え方、判断力を向上し、考えを表現できるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に問題に取り組むことができ、与えられた課題に真剣に取り組むことができる。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各単元の内容について、基本的な事柄を十分理解したうえで、これらを用いた問題を解くことができるようになる。	数学的な思考力、解法発見力をつけ、自らの考え解法を記述などで的確に表現することができるようになる。	数学に対して積極的に学ぶ姿勢をもち、与えられた課題などに真剣に取り組む姿勢を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	図形と方程式 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	x y 座標上での直線、三角形、円の表現方法とそれらを用いて図形の問題を解くときの考え方、方法を理解し、問題を解くことができるように指導する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	三角関数 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	角の概念を一般角まで拡張して三角関数に関する問題を解くことができる。また、加法定理とそれに関する公式を用いて問題を解くことができる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
2 学期	指数関数・対数関数 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	指数・対数の性質、計算規則を正しく用いて計算することができるように指導する。指数関数・対数関数のグラフについての知識を得ることにより、方程式、不等式を解けることができるように指導する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	20
	微分法と積分法 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	微分法と積分法の意味を理解させ、計算ができるようになるように指導する。さらに微分の計算を用いて関数の増減が考察できるようになる。積分計算を用いて曲線で囲まれた図形の面積を求めることができるように指導する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	微分法と積分法 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	微分法と積分法の意味を理解させ、計算ができるようになるように指導する。さらに微分の計算を用いて関数の増減が考察できるようになる。積分計算を用いて曲線で囲まれた図形の面積を求めることができるように指導する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	23
定期考査			○	○		1	
3 学期	総合演習 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学Ⅱで学習した内容の基本事項の復習、演習を実施する。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○			17
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教科： 数学

科目： 数学B

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1,2組：大西、伊木、並木）（3,4組：増田、大西、藤沼）（5,6組：増田、伊木、並木）（7,8組：増田、藤沼、並木）

使用教科書：（数研出版 数学B

）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】各単元の内容を理解し、事象を数学化し、表現、処理ができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】数学的な考え方、判断力を向上し、考えを表現できるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に問題に取り組める姿勢を身に付けることができる。

科目 数学B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
統計や数列の性質についての基本的な事柄を十分理解したうえで、事象を考察できるようになる。	数学的な思考力、解法発見力をつけ、自らの考え解法を記述などで的確に表現することができるようになる。	数学に対して積極的かつ、真剣に学ぶ姿勢を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期							
2 学 期	数列とその和 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数列に関する数学的な基本的知識と計算処理の方法を理解する。また、関連する問題を解くことができるようになる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	数学的帰納法 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	数学的帰納法に関する原理を理解し、これを用いた問題を解くことができるようになる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	12
	確率分布 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	確率変数や確率分布に関する基本的な性質を理解し、二項分布や正規分布に関する問題を解くことができる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	
3 学 期	確率分布 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	確率変数や確率分布に関する基本的な性質を理解し、二項分布や正規分布に関する問題を解くことができる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	7
	統計的な推測 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	母集団と標本に関する基本的な性質を理解し、推定や仮説検定に関する問題を解くことができる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○		16
	定期考査			○	○	○	1

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Cα

教科： 数学 科目： 数学Cα 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1,2組：村松,竹村,乾）（3,4組：乾,藤沼,小林）（5,6組：乾,竹村,村松）（7,8組：村松,藤沼,小林）

使用教科書： 数研出版 数学C

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】各単元の内容を理解し、事象を数学化し、表現、処理ができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】数学的な考え方、判断力を向上し、考えを表現できるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に問題に取り組める姿勢を身に付けることができる。

科目 数学Cα の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトルの性質について、基本的な事柄を十分理解したうえで、事象を考察できるようになる。	ベクトルの知識をもとに、数学的な思考力、解法発見力をつけ、自らの考え解法を記述などでの確に表現することができるようになる。	数学に対して積極的かつ、真剣に学ぶ姿勢を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	平面上のベクトル 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	平面上のベクトルや内積に関する原理や性質を理解し、これらを用いた問題を解くことができるようになる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	空間のベクトル 【知識及び技能】 問題解決のための知識理解 【思考力、判断力、表現力等】 問題演習の取り組み状況 【学びに向かう力、人間性等】 問題集等の提出物の取り組み状況	空間のベクトルに関する原理や性質を理解し、これらを用いた問題を解くことができるようになる。また、ベクトルを用いて図形の式を表すことができる。	【知識・技能】 問題演習、小テスト 【思考・判断・表現】 発言、課題の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、課題の取り組み	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2 学 期							
3 学 期							

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科 科目：物理基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：（津田・宮川）

使用教科書：（物理基礎 東京書籍）

教科 理科 の目標：日常生活や社会との関連を図りながら科学的な現象への関心を高め、目的意識を持って観察・実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育て、科学的な考え方を養う。

【知識及び技能】得た知識や理解したことを、その後の学習や生活の中で応用する。

【思考力、判断力、表現力等】課題を遂行するにあたって、科学的・論理的に思考し、判断する。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に対して興味・関心を高める。

科目 物理基礎 の目標：日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学的に探究する能力と態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学習した物理の基本的な概念や原理・法則を正しく理解する。推論、実験、検証の過程で科学的な考え方・方法を用いる。	課題の設定理由、研究課程、結果およびそこから導き出した自らの考えを的確・簡潔にわかりやすく相手に伝える。	意欲的に課題を追求する態度を身に着ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 速度 【知識及び技能】物体の速さ、等速直線運動の式、そのグラフを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】「瞬間の速度」の意味・考え方、またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】日常の運動から、速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもたせる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】物体の速さの式を理解している。等速直線運動の式およびx-t図、v-t図を理解できている。 【思考・判断・表現】「瞬間の速度」の意味・考え方、またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】日常の運動から、速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもっている。	○	○	○	5
	B 加速度・落体の運動 【知識及び技能】等加速度直線運動を表す3つの式がどのようにして得られたかを理解し、その式やグラフを正しく運用する。 【思考力、判断力、表現力等】加速度の定義や正負の意味を正しく理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】スタート直後の速さの比較によって、加速度を学ぶ意味を理解し、興味・関心を持たせる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】等加速度直線運動を表す3つの式がどのようにして得られたかを理解し、その式やグラフを正しく運用することができる。 【思考・判断・表現】加速度の定義や正負の意味を正しく理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】スタート直後の速さの比較によって、加速度を学ぶ意味を理解し、興味・関心を示している。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	C 運動の法則（力とそのはたらき） 【知識及び技能】重力、垂直抗力、摩擦力、糸が引く力、弾性力について、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】重力の大きさは物体の質量と重力加速度の大きさとの積であることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】見ること、触ることができない「力」に対して、どのようにして力の存在がわかるのか、また力にはどのような種類があるのかに関心を持たせる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】重力、垂直抗力、摩擦力、糸が引く力、弾性力について、理解できている。 【思考・判断・表現】重力の大きさは物体の質量と重力加速度の大きさとの積であることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】見ること、触ることができない「力」に対して、どのようにして力の存在がわかるのか、また力にはどのような種類があるのかに関心を示す。	○	○	○	6
	D 運動の法則（力のつり合い） 【知識及び技能】注目する物体にはたらく力が指摘でき、つりあいの式が立てられる。 【思考力、判断力、表現力等】注目する物体にはたらく力が指摘でき、つりあいの式が立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】力が合成・分解して表されることに興味をもつ。また、「作用・反作用」と「つりあい」の2力との違いに気づく。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】注目する物体にはたらく力が指摘でき、つりあいの式が立てられる。 【思考・判断・表現】注目する物体にはたらく力が指摘でき、つりあいの式が立てられる。 【主体的に学習に取り組む態度】力が合成・分解して表されることに興味をもつ。また、「作用・反作用」と「つりあい」の2力との違いに気づく。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	

2 学 期	E仕事と力学的エネルギー 【知識及び技能】物体に保存力以外の力がはたらくとき、その仕事の量だけ物体の力学的エネルギーは変化することを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】力学的エネルギー保存則について興味関心を持たせる。 【学びに向かう力、人間性等】力学的エネルギー保存則が成り立つための条件を理解させる。 F熱とエネルギー 【知識及び技能】温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】熱量保存の式を熱エネルギーの授受を考慮させながら立てさせる。 【学びに向かう力、人間性等】熱エネルギー温度、熱量に対してや積極的に興味・関心を持たせる。	仕事と力学的エネルギー 【知識・技能】物体に保存力以外の力がはたらくとき、その仕事の量だけ物体の力学的エネルギーは変化することを理解している。 【思考・判断・表現】力学的エネルギー保存則について興味関心をもつ。 【主体的に学習に取り組む態度】力学的エネルギー保存則が成り立つための条件が整っているかどうかを判断できる。 熱と力学的エネルギー 【知識・技能】温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解されている。 【思考・判断・表現】熱量保存の式を立てるに際して、どの物体がいくらの熱量の授受を行ったかが判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】「熱はなぜエネルギーの一種といえるのか」、また、「温度と熱量とは同じだろうか」のような発問に対し、積極的に興味・関心をもって回答している。				17	
	定期考査					1	
	G波 【知識及び技能】波の伝わるようすを、グラフで表現することができる。また、位相について正しく理解させる。定在波の生じるしくみを理解させる。共振・共鳴についての理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】共振・共鳴についての理解ができている。 空气中を伝わる音の速さを定量的に扱うことを理解させる。弦楽器や管楽器での音の発生の原理を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】2つの波が遭遇して重なりあうときには、2つの物体が衝突するときとは異なることに興味・関心を示す。	【知識・技能】波の伝わるようすを、グラフで表現することができる。また、位相について正しく理解できている。定在波の生じるしくみを理解している。共振・共鳴についての理解ができている。 【思考・判断・表現】共振・共鳴についての理解ができている。空气中を伝わる音の速さを定量的に扱うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】2つの波が遭遇して重なりあうときには、2つの物体が衝突するときとは異なることに興味・関心を示す。弦楽器や管楽器での音の発生の原理を理解することに興味・関心を示している。				16	
	定期考査					1	
3 学 期	H電気 【知識及び技能】物体の帯電は、自由電子のやりとりによって生じていることが理解させる。直線電流、円形電流、ソレノイドのつくる磁場の向きを判断させる。交流電圧で送電することのメリットを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】帯電体が及ぼしあう力の関係から、帯電体の電荷の種類を判断させる。帯電体もつ電気の大きさは、電気素量の整数倍であることを理解させる。抵抗の直列接続と並列接続で、合成抵抗はどのように異なるかを理解させる。交流発生のおよび交流の「電圧の最大値」と「電圧の実効値」の意味をそれぞれ理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】日常生活における静電気現象に興味をもち、電気の性質に気づかせる。電流を水の流に例えるとき、抵抗や電圧はどのように例えられるかを説明できるようにする。目に見えない電気を具体的に理解させる。ジュール熱を利用したものを、身のまわりの中から探させ、電気のエネルギーとしての側面に興味を持たせる。	【知識・技能】物体の帯電は、自由電子のやりとりによって生じていることが理解できている。直線電流、円形電流、ソレノイドのつくる磁場の向きを判断することができる。交流電圧で送電することのメリットを理解している。 【思考・判断・表現】帯電体が及ぼしあう力の関係から、帯電体の電荷の種類を判断することができる。帯電体もつ電気の大きさは、電気素量の整数倍であることを理解している。抵抗の直列接続と並列接続で、合成抵抗はどのように異なるかを理解している。交流発生のおよび交流の「電圧の最大値」と「電圧の実効値」の意味をそれぞれ理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】日常生活における静電気現象に興味をもち、電気の性質に気づく。電流を水の流に例えるとき、抵抗や電圧はどのように例えられるかを説明できる。目に見えない電気を具体的に理解することができる。ジュール熱を利用したものを、身のまわりの中から探してみることから、電気のエネルギーとしての側面に興味をもつことができる。				9	
	定期考査					1	
						合計	70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学

教科：理科 科目：化学 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～8組
 教科担当者：（1組～8組：藤田 陽子）
 使用教科書：（化学academia 実教出版）

教科 理科 の目標：
 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する基本的な技能を身に付けようとする。
 【思考力、判断力、表現力等】 観察・実験などを行い、科学的に探究し、それを表現する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学的な事物・現象についての観察、実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮設の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得している。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力を身に付ける。	化学的な事物・現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の状態変化、状態間の平衡について理解できる。 結晶格子の概念および結晶の構造を理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の状態変化、状態間の平衡について思考・表現できる。 結晶格子の概念および結晶の構造を思考・表現できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 固体の構造、気体の性質について意欲的に学習できる。 	<p>1章物質の状態と平衡</p> <p>1節状態変化 物質の構造と融点・沸点 状態間の平衡</p> <p>2節固体の構造 結晶 アモルファス</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて理解している。また、状態変化に伴うエネルギーの出入りおよび状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の状態変化は、構成粒子の分子運動が関係していることや分子運動が温度・圧力によるものであることを論理的、総合的に判断できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 固体が示すさまざまな性質に着目し、共通の事象について規則性を予測しようとする。 	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気体の性質を観察、実験などを通して探究し、理解できる。 溶解平衡および溶液の性質について理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気体の性質を観察、実験などを通して探究し、思考・表現できる。 溶解平衡および溶液の性質について思考・表現できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 溶解平衡および溶液の性質について意欲的に学習できる。 	<p>3節気体の性質 熱運動と気体分子 気体の状態方程式</p> <p>4節溶液 溶解 溶解度と溶解平衡</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気体の体積と圧力や温度変化との関係を理解している。 溶液の性質の法則性について理解し、知識を身につけている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気体の法則について化学的に考察し、その考えを説明することができる。 溶解度と溶解平衡について化学的に考察し、その考えを説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気体、液体が示すさまざまな性質に着目し、共通の事象について規則性を予測しようとする。 	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 希薄溶液、コロイド溶液の性質について理解できる。 化学反応における熱および光の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差から生じることを理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 希薄溶液、コロイド溶液の性質について思考・表現できる。 化学反応における熱および光の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差から生じることを思考・表現できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学反応における熱および光の発生について意欲的に学習できる。 	<p>4節溶液 希薄溶液の性質 コロイド溶液の性質</p> <p>2章物質の変化と平衡 1節化学反応と熱・光エネルギー エネルギーの変換と保存 化学反応と熱エネルギー ヘスの法則 化学反応と光エネルギー</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 希薄溶液、コロイド溶液に関する事象について理解し、知識を身につけている。 化学反応における熱および光の発生や吸収は、反応前後における化学エネルギーの差から生じる事を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 希薄溶液の示す性質などについて化学的に考察し、その考えを説明することができる。 化学反応に伴って熱、光、電気エネルギーの出入りがあること、温度・濃度・触媒の影響などを受けることを、代表的な物質の反応や性質の比較から推論することができる。また、導き出した考えを的確に表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学反応に伴うさまざまなエネルギーの出入りがあること、温度・濃度・触媒などが反応の速さに影響することを意欲的に探究・考察しようとする。 	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池は酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出すしくみであることを理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池は酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出すしくみであることを思考・表現できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池及び電気分解について意欲的に学習に取り組む。 	<p>2節化学反応と電気エネルギー</p> <p>電池 電気分解</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学電池の仕組みについて理解している。 外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こること、また、その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学反応に伴って熱、光、電気エネルギーの出入りがあること、温度・濃度・触媒の影響などを受けることを、代表的な物質の反応や性質の比較から推論することができる。また、導き出した考えを的確に表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学反応に伴うさまざまなエネルギーの出入りがあること、温度・濃度・触媒などが反応の速さに影響することを意欲的に探究・考察しようとする。 	○	○	○	13
定期考査				○	○		1
3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 反応速度の表し方および反応速度に影響を与える要因について意欲的に学習できる。 反応速度の表し方および反応速度に影響を与える要因を理解できる。 可逆反応、化学平衡および化学平衡の移動を理解できる。 水のイオン積、pH、弱酸、弱塩基の電離平衡、溶解度積について理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 反応速度の表し方および反応速度に影響を与える要因を思考・表現できる。 可逆反応、化学平衡および化学平衡の移動について思考・表現できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 可逆反応、化学平衡および化学平衡の移動について意欲的に学習できる。 水のイオン積、pH、弱酸、弱塩基の電離平衡、溶解度積について意欲的に学習できる。 	<p>3節反応の速さとしくみ</p> <p>反応のはやさ 反応速度を変える条件 反応のしくみ</p> <p>4節化学平衡</p> <p>可逆反応と化学平衡 化学平衡の移動 電解質水溶液の平衡</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 反応速度の表し方、反応速度に影響を与える要因などについて理解している。 可逆反応や化学平衡の移動、水のイオン積、pH、弱酸、弱塩基の電離平衡、溶解度積などについて理解している。 化学平衡に関する観察、実験などを行い、その操作や記録などの技能が習得でき、結果から結論を導くことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学平衡になる典型的な反応について、実証的・論理的に分析し、科学的に考えることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学平衡などの複雑なしくみがあることを、意欲的に探究・考察しようとする。 	○	○	○	19
定期考査				○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：（中川・土屋・牛窪・三井・柿崎・佐藤・宗村）

使用教科書：（現代 高等 保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を継続できるよう、運動の多様性や体力の必要性について理解し、その技能を身に付けるようにする。	生涯、運動を継続するための課題を見つけ、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、お互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にすること、などの考え方を育て、生涯継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	領域をまたぐ種目の選択 領域1：柔道・剣道 領域2：ダンス 柔道・剣道・ダンスを種目選択とし、男女共修で行う授業の一つである。 運動の技能だけでなく、グループでの協同活動や話し合いなど、主体的に取り組む態度を高めるようにする。	柔道： 相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防をする。 剣道： 相手の構えを崩し、素早く仕掛けたり応じたりするなどの攻防をする。 ダンス： ダンスの多様な楽しさや喜びを味わい、交流や発表をする。	【知識・技能】 質疑・技能テスト・提出物 等 【思考・判断・表現】 発見・発言・提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性・提出状況・出席状況・授業観察 等	○	○	○	9
	球技 ベースボール型 ゴール型 ネット型	ソフトボール サッカー バスケットボール テニス	【知識・技能】 質疑・技能テスト・提出物 等 【思考・判断・表現】 発見・発言・提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性・提出状況・出席状況・授業観察 等	○	○	○	9
	体づくり運動 水泳（平泳ぎ） 体育理論	新体力テスト（6月実施） 6月中旬から游泳開始 7月臨時時間割にて体育理論実施	【知識・技能】 質疑・技能テスト・提出物 等 【思考・判断・表現】 発見・発言・提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性・提出状況・出席状況・授業観察 等	○	○	○	6
2 学 期	水泳（バタフライ） 体づくり運動	水泳は9月3週目まで	【知識・技能】 質疑・技能テスト・提出物 等 【思考・判断・表現】 発見・発言・提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性・提出状況・出席状況・授業観察 等	○	○	○	6
	領域をまたぐ種目の選択 領域1：柔道・剣道 領域2：ダンス 柔道・剣道・ダンスを種目選択とし、男女共修で行う授業の一つである。 運動の技能だけでなく、グループでの協同活動や話し合いなど、主体的に取り組む態度を高めるようにする。	柔道： 相手を崩して投げたり、抑えたり、返したりするなどの攻防をする。 剣道： 相手の構えを崩し、素早く仕掛けたり応じたりするなどの攻防をする。 ダンス： ダンスの多様な楽しさや喜びを味わい、交流や発表をする。	【知識・技能】 質疑・技能テスト・提出物 等 【思考・判断・表現】 発見・発言・提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性・提出状況・出席状況・授業観察 等	○	○	○	9
	球技 ベースボール型 ゴール型 ネット型	ソフトボール サッカー バスケットボール テニス	【知識・技能】 質疑・技能テスト・提出物 等 【思考・判断・表現】 発見・発言・提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性・提出状況・出席状況・授業観察 等	○	○	○	9
	体育理論	12月臨時時間割にて実施	【知識・技能】 質疑・技能テスト・提出物 等 【思考・判断・表現】 発見・発言・提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性・提出状況・出席状況・授業観察 等	○	○	○	2

3 学 期	球技 ベースボール型 ゴール型 ネット型	ソフトボール サッカー バスケットボール テニス	【知識・技能】 質疑・技能テスト・提出物 等 【思考・判断・表現】 発見・発言・提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性・提出状況・出席状況・授業観察 等	○	○	○	9
	体づくり運動 体育理論	2月下旬および3月臨時時間割に て実施	【知識・技能】 質疑・技能テスト・提出物 等 【思考・判断・表現】 発見・発言・提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性・提出状況・出席状況・授業観察 等	○	○	○	11

年間授業計画

高等学校 令6年度（2学年用）教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：（中川・土屋・佐藤）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	第3単元【生涯を通じる健康】 ライフステージ・思春期 【知識及び技能】 思春期における心身の発達 【思考力、判断力、表現力等】 性的成熟に伴う健康課題 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題に向き合う態度	・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	3
	第3単元【生涯を通じる健康】 性意識・妊娠出産 【知識及び技能】 受精、妊娠、出産に伴う健康課題 【思考力、判断力、表現力等】 結婚生活に伴う健康課題 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題に向き合う態度	・妊娠出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	4
	第3単元【生涯を通じる健康】 中高年期 【知識及び技能】 加齢と心身の機能や形態の変化 【思考力、判断力、表現力等】 疾病や事故のリスク軽減 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題に向き合う態度	・中高年期と健康	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	第3単元【生涯を通じる健康】 振り返り 【知識及び技能】 性教育の課題 【思考力、判断力、表現力等】 避妊や人工妊娠中絶の課題 【学びに向かう力、人間性等】 自分がとるべき避妊法	・性教育について考えてみよう ・それは本当に正しい避妊法ですか	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 ブレインストーミング、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	2
2 学 期	第3単元【生涯を通じる健康】 働くこと 【知識及び技能】 職業病などの労働災害と作業形態 【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題について考える 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題に向き合う態度	・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 ブレインストーミング、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	3
	第4単元【健康を支える環境作り】 環境汚染と健康 【知識及び技能】 健康被害を防ぐ方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題について考える 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題に向き合う態度	・大気汚染と健康 ・水質汚濁、土壌汚染と健康 ・環境と健康にかかわる対策 ・ごみ処理と上下水道の整備	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 ブレインストーミング、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	4
	第4単元【健康を支える環境作り】 食品について 【知識及び技能】 食品と食糧事情について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題について考える 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題に向き合う態度	・食品の安全性 ・食品衛生に関わる活動	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 ブレインストーミング、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

	<p>第3-4単元【生涯】【健康環境】 振り返り 【知識及び技能】 プラスチックごみの問題点と対策 【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題について考える 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題に向き合う態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と健康 ・海洋プラスチックごみについて 	<p>【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 ロールプレイ、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等</p>	○	○	○	1
3 学 期	<p>第4単元【健康を支える環境作り】 保健と医療 【知識及び技能】 医療制度と医薬品を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題について考える 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題に向き合う態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健サービスとその活用 ・医療サービスとその活用 ・医薬品の制度とその活用 	<p>【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 ロールプレイ、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等</p>	○	○	○	4
	<p>第4単元【健康を支える環境づくり】 保健活動と社会の役割 【知識及び技能】 保健活動と環境作りを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題について考える 【学びに向かう力、人間性等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加 	<p>【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 ロールプレイ、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等</p>	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	<p>第4単元【健康を支える環境づくり】 振り返り 【知識及び技能】 健康について総合的に考える 【思考力、判断力、表現力等】 自他や社会の課題について考える 【学びに向かう力、人間性等】 健康課題に向き合う態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素や食品のブームについて ・健康政策を考えてみよう 	<p>【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 ロールプレイ、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等</p>	○	○	○	2

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： 平川 陽子

使用教科書： (家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍))

教科 家庭

の目標：

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的、基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育

【知識及び技能】 生涯を見通し、家庭生活及び社会生活について理解を深め、主体的に生活を営むための知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭生活及び社会生活における課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に主体的に取り組み、協働しながら、自分や家庭、地域のより良い生活を創造し、実践しようとしている。

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	単元：家族・家庭 【知識及び技能】 課題の発見及び解決 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けての力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 生活を見直し課題を発見し、解決する力を養う	自分らしい人生をつくる ・生涯発達の視点 ・青年期の課題 ・目標をもって生きる ・人生をつくる ・家族・家庭をみつめる ・これからの家庭生活と社会	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	6
単元：衣生活 【知識及び技能】 課題の発見及び解決、技術向上 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けての力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 生活を見直し課題を発見し、解決する力を養う	衣生活をつくる ・布を用いた生活の知恵 ・被服実習	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物、作品 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査、作品等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	6	
単元：衣生活 【知識及び技能】 課題の発見及び解決、技術向上 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けての力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 生活を見直し課題を発見し、解決する力を養う	衣生活をつくる ・被服の役割を考える ・被服を管理する ・被服を入手する ・これからの衣生活	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	6	
定期考査			○	○		1	
単元：食生活 【知識及び技能】 課題の発見及び解決 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けての力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 生活を見直し課題を発見し、解決する力を養う	食生活をつくる ・調理の基礎 ・食生活について考える ・食事の栄養・食品	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	2	
2 学期	単元：食生活 【知識及び技能】 課題の発見及び解決、技術向上 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けての力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 生活を見直し課題を発見し、解決する力を養う	食生活をつくる ・食生活の安全と衛生 ・生涯の健康を見通した食事計画 ・調理の基礎 ・調理実習	【知識・技能】 実習、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	10
単元：保育 【知識及び技能】 課題の発見及び解決 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けての力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 生活を見直し課題を発見し、解決する力を養う	保育 ・子どもと共に育つ ・子どもの育つ力を知る ・親として共に育つ ・子どもとのふれあいから学ぶ ・これからの保育環境	【知識・技能】 実習、演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	8	
単元：高齢者・共生 【知識及び技能】 課題の発見及び解決 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けての力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 生活を見直し課題を発見し、解決する力を養う	高齢社会を生きる ・高齢期を理解する ・高齢者の心身の特徴 ・これからの高齢社会 共に生きる ・私たちの生活と福祉 ・社会保障の考え方 ・共に生きる	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	8	
定期考査			○	○		1	
単元：消費経済 【知識及び技能】 課題の発見及び解決 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けての力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 生活を見直し課題を発見し、解決する力を養う	経済生活を営む ・消費行動と意思決定 ・現代の消費社会	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	2	

3 学 期	単元：消費経済 【知識及び技能】 課題の発見及び解決 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けての力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 生活を見直し課題を発見し、解決する力を養う	経済生活を営む ・これからの消費生活と環境 ・職業生活を設計する ・計画的に使う ・国民経済・国際経済と家庭の経済生活	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	8
	単元：住生活 【知識及び技能】 課題の発見及び解決 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けての力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 生活を見直し課題を発見し、解決する力を養う	住生活をつくる ・住生活について考える ・住生活の計画と設計 ・これからの住生活	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元：生活設計 【知識及び技能】 課題の発見及び解決 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けての力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 生活を見直し課題を発見し、解決する力を養う	生活設計 ・将来の生活について考える ・これからの生活	【知識・技能】 演習問題、定期考査、提出物 等 【思考・判断・表現】 発言・発表、提出物、定期考査 等 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性、提出状況、授業観察 等	○	○	○	3

年間授業計画

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションII

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションII 単位数: 4 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 8 組

教科担当者: (1・8組: 平野) (2・4・6組: 諏訪) (3・5・7組: 帯刀(上岡))

使用教科書: (CREATIVE English Communication II (第一学習社))

教科 外国語

の目標:

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、放して、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションII の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理科を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	英語という言語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、放して、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数	
		聞	読	話 （ ）	話 （ ）	書						
1 学 期	Lesson1 Voice for Action 【知識及び技能】 英文の内容に応じた音読をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 整理した内容を活用して、自分が模擬サミットに参加したと想定して、環境保護のためにしたい活動を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 模擬サミットの特徴を理解し、聞き手に配慮して、環境保護のためにしたい活動について説明しようとしている。	2019年の国連ユース気候サミットには、世界中から高校生を含む500人が参加し、メッセージを発信した。 さまざまな助動詞/分詞構文(現在分詞)内容に応じた音読を心がけよう! 一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○					10
	Lesson 2 Aren't You Sleepy? 【知識及び技能】 未知語の意味を推測して、英文を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 整理した内容を活用して、自分の睡眠習慣について説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 インタビューにおける注意点を理解しようとしている。 ・聞き手や読み手に配慮して、わかりやすく自分の睡眠習慣について説明しようとしている。	睡眠の長い動物、短い動物にどのような特徴があるのだろうか。 受け身の分詞構文/副詞節中の(S+be)の省略 未知語の意味を推測するには 一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○					16
	定期考査											1
	Lesson 3 Becoming Attractive to Your Audience 【知識及び技能】 文章の展開(列挙)に注意して、英文を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 整理した内容を活用して、高校生活で達成したいことについてスピーチをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的なスピーチにするための方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすくスピーチしようとしている。	アスリートのインタビューでのスピーチには特徴がある。4つのポイントを解説。 関係代名詞の非制限用法/仮定法過去・仮定法過去完了 文章の展開に注目しよう!(列挙) 一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○					14
	Lesson 4 Are You Prepared? 【知識及び技能】 文章の展開(例示・追加)に注意して、英文を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 整理した内容を活用して、防災グッズについてプレゼンテーションをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的なプレゼンテーションにするための方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすくプレゼンテーションをしようとしている。	自然災害と防災について。防災グッズ、取り組み、コミュニケーションにはどのような工夫がなされているか。 助動詞+have+過去分詞/完了不定詞 文章の展開に注目しよう!(例示・追加) 一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○					14
定期考査											1	
Lesson 5 The Era of Beautiful Harmony 【知識及び技能】 同格表現や言い換え表現に注意して、英文を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本および世界の元号についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 読み手に配慮して、わかりやすい俳句の英訳をしようとしている。	元号「令和」と、世界の元号について。 関係副詞の非制限用法/同格のthat 同格表現や言い換え表現に注意しよう! 一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○					12	
Lesson 6 ctions to Reduce Loss and Waste 【知識及び技能】 文章の展開(対照)に注意して、英文を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 整理した内容を活用して、フードロス・フードウェイストについてのアンケートに質問項目を追加し、その理由を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 聞き手や読み手に配慮して、アンケートに質問項目を追加し、わかりやすくその理由を説明しようとしている。	フードロス(食品ロス)・フードウェイスト(食品廃棄)の現状と対策。 完了形の分詞構文/複合関係詞 文章の展開に注目しよう!(対照) 一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○					15	

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目

教科： 総合的な探究の時間 科目： 0

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 組～ 組

教科担当者： （1組：平野）（2組：藤田）（3組：竹内）（4組：村松）（5組：金山）（6組：諏訪）（7組：中川）（8組：乾）

使用教科書： （ ）

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】生徒各自が課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成する。

【思考力、判断力、表現力等】生徒各自が実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生徒各自が探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付ける。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生徒各自が課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身につけ、課題に関わる概念を形成する。	生徒各自が実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。	生徒各自が探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	課題研究テーマの決定 【知識及び技能】 課題研究の意義や価値、取り組み内容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自らを振り返り、課題を見出すための情報を収集し、整理・分析させる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に課題研究のテーマの決定に取り組ませる。	・課題研究の意義について考えさせる。また、好きなこと、趣味、困りごと、教科の学習、進路などから、課題研究のテーマを決定させる。 ・一人1台端末を積極的に活用させる。	【知識・技能】 課題研究のテーマについての知識があり、様々な手段を使ってテーマを見つける技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自分を見つめなおし、何に興味があるのか何を研究したいのか考えさせ、それを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題研究のテーマを決定するため、意欲的に課題を見つけようとしている。	○	○	○	10
2 学期	調査・研究 【知識及び技能】 自分のテーマに適した文献調査、実地調査、アンケート調査、実験などについての知識と技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 文献調査、実地調査、アンケート調査、実験などから得た結果をもとに考察を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報の収集・分析に自ら主体的に取り組ませる。	・分野別のグループに分かれ、個人またはグループの研究テーマを決定する。 ・文献調査、実地調査、アンケート調査、実験などを行い、研究を進める。 ・一人1台端末を積極的に活用させる。 ・中間発表を行う。	【知識・技能】 調査を進める手段を理解し、アンケートなどを作成する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 効果的なアンケートを作成したり、文献等から得た知識をもとに、考察を深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的にアンケートを作成したり、様々な手段を使って意欲的に課題を解決しようとしている。	○	○	○	14
3 学期	調査・研究及び発表 【知識及び技能】 レポート作成や研究発表に向けてその技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 レポート作成や研究発表に向けてその表現力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 レポート作成や研究発表に向けて自ら主体的に取り組ませる。	・中間発表で得た情報について、新たに調査を行い、研究を進める。 ・最終発表（本発表）を行う。 ・一人1台端末を積極的に活用させる。	【知識・技能】 中間発表で得た知識をもとに、研究を発展させる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 中間発表で得た新たな知識をもとに調査を進め、その結果を考察して表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の収集や整理・分析について主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	11